

第3回産学官連携利用推進委員会 議事概要【要旨】

日 時：平成18年10月20日（金） 13：30 ～ 15：30
場 所：世界貿易センタービル WTCコンファレンスセンター3階 Room C
（東京都港区浜松町2-4-1）

出席者：（敬称略）

[委 員]石原（委員長）、糸崎、今井、太田浩、太田俊、竹村、谷口、寺田、
中村、広瀬 （欠席）米澤

[財 団]吉良、永田、渡辺、鈴木、原、坂尻、久保田

議事概要：【要旨】

1. 現状認識

- ・近年 SPring-8 において実施された、産業利用の拡大を目指した取り組みは、新規利用者の獲得などにより産業利用課題数の割合が全体の約20%に達し、一定の成果が見られる。
- ・産業利用の割合が一定水準に達した今、今後の産業利用促進への取り組みの方向性は、現在の産業利用割合の水準を維持しつつ、量から質への転換、より産業にとって有益な成果の拡大に軸足を移すことである。

2. 質への転換、成果拡大の目標

- ・SPring-8 の利用を通じた知の創造（ブレークスルー）とその活用により各産業分野におけるイノベーションを実現し、産業競争力の強化や新産業の創造に貢献すること。
- ・各企業のニーズに柔軟に対応し、日々の事業収益活動に直接貢献すること。

3. 取り組み方策

- ・各産業分野ロードマップ等における共通課題への産学官連携によるアプローチ
- ・底辺拡大と底上げ、及び成果が期待できる課題への時間の重点配分
- ・測定データの解析など、より付加価値のある充実した支援の実施
- ・利用価値の指標となる有料利用の積極的展開

4. 具体的施策

- ・優れたリーダーのもとに共通課題を持つ企業群のグループ化
- ・各業界における包括連携への取り組み（各種団体へのアプローチ）
- ・新しい利用者層拡大のための利用制度（受託解析、受託研究など）の整備（専門家以外の利用等を可能にする自己使用原則の見直し）
- ・タイムリーな利用、計画的利用へ対応する利用制度の整備
- ・付加価値のある充実した支援の有料による展開
- ・成果専有利用の積極的展開(有料支援による潜在ニーズの取り込み)

5. 留意事項

- ・国内の放射光施設との連携を図り、リーダーシップを発揮する。
- ・有料支援においては、知財を整理するとともに、設備の高度化等、JASRI 及び実施スタッフにインセンティブが還元される仕組みとするべきである。